

## 観測ロケット S-310-37 号機による Sq 電流系中心の熱的・超熱的電子エネルギー分布観測

Measurement of thermal and suprathermal electron energy distribution in the Sq current focus by the sounding rocket S-310-37

# 下山 学 [1]; 阿部 琢美 [2]; 小山 孝一郎 [3]

# Manabu Shimoyama[1]; Takumi Abe[2]; Koh-ichiro Oyama[3]

[1] ISAS/JAXA; [2] JAXA 宇宙研; [3] 宇宙研

[1] ISAS/JAXA; [2] ISAS/JAXA; [3] ISAS

Sq 電流系中心の高電子温度層生成メカニズムの解明を目的とし、観測ロケット S-310-37 号機が 2007 年 1 月 16 日 11:20(JST) に JAXA 内之浦宇宙空間観測所より打ち上げられた。ロケットは上昇時の高度 100km 付近で Sq 電流系中心付近に存在する高電子温度層を通過したことが確認されている。本講演では、高電子温度層のエネルギー源としての電子加速・加熱の存否を検証するために搭載された超熱的電子エネルギー分布測定器 (Suprathermal Plasma Analyzer) の初期結果を示し、データの一部で確認されたロケットウェイクや太陽紫外光に起因すると考えられるスピンモジュレーションについても触れる予定である。